

シンセメック株式会社

しまや かよ 島谷 佳代さん · かわばた けいこ 川端 景子さん



石狩市で女性社員を積極的に採用・登用し、いきいきと活躍している企業に取材をしました。

石狩市新港西2丁目
788番地7号
0133-75-6600



～会社の人事を担当している島谷さんにお話を伺いました～

業務部グループリーダーの島谷佳代です。
人事採用、広報を担当しています。



企業概要、女性社員の割合

私たちシンセメックは自動車業界や食品業界など幅広い業界のメーカー様向けに、オーダーメイドの機械を製作しています。今まで送り出した機械は4,000種類以上。その1台1台がお客様の強力なビジネスパートナーとして世界中で活躍しています。
現在女性社員は全体の20%ほどで、その半数はものづくり現場で活躍しています。

なぜ女性社員を積極的に採用・登用しようと思ったのか？

機械金属系の製造業は、女性が活躍しているイメージがあまりない上に、よく「3K」(きつい・汚い・危険)と言われてしまいますが、工場の中をよく見渡してみると、実際はそうではありません。

力が必要な作業はクレーンがありますし、危険な作業もあまりないんですよ。逆に、細かい配線や、川端のように微細な加工をする仕事もたくさんありますので、むしろ女性のほうが得意と思われる作業もあります。

女性を積極的に採用したというのはひとつの例で、機械金属系の製造業のイメージを変えたかった、というのが本音かもしれません。

女性社員を採用・登用してよかったと思うこと

「女性が働いている工場」ということでイメージが良くなり、さらに入人が集まってくれるようになりました。また前出のように細かい配線などの作業は女性社員のほうがキレイにまとめてくれる、と社内でも評判が良いです。

今後、女性社員を採用・登用していくのに課題だと思うこと

女性が活躍できる職場は、イコール多様な人材が活躍できる職場、と昨今は広く認識されています。女性だけでなく、人生の中で様々なステージにある人が活躍できることが一番望ましいはずです。そのためには会社が整えなければならないことと同時に、そこで働く人の協力やスキルアップの両方が欠かせないと思います。

ある一日のスケジュール



～実際にこの会社で働いている川端さんのある一日に密着しました～

製造部加工グループ所属の川端景子です。

機械加工でも最も微細な加工を得意とする

「ワイヤーカット放電加工機※」のエンジニアとして働いています。

※細いワイヤーを使い、放電エネルギーで糸のこ式に金属を加工する機械



↑マシンセンターの様子



会社に着きます。朝礼に参加して、その後は部署ごとにミーティングでその日の予定を確認します。



普段は会社のラウンジ(休憩室)でお昼を食べています。新しくて明るく広いので快適ですよ。



8時30分

ワイヤーカットで当社オリジナルの「カボチャ乱切り機」の刃物を製作します。0.25mmの細いワイヤーで、刃物の端を包丁のように加工することができますよ。



13時

午前中に作った製品を三次元測定機で計測します。
1/1000ミリ単位まで計測する製品もあるんですよ。



10時30分

ワイヤーが自動で動いている間、研磨機を使って銅製品の研磨を行います。しっかり品物を固定するのがポイントです。



14時30分

今日私が帰った後にも4台のワイヤーが自動で夜中に加工を進められるよう、4台それぞれプログラムします。次の日の予定を確認して17時30分に退社です。

なぜこの仕事をしたいと思ったのか？

子どものときから、手芸・お菓子づくり・パンづくりなど、とにかく何かをつくるのが好きで、将来は「手に職をつけて」仕事をしたいと思い、工業高校へ進学したのがきっかけです。

入社前に不安だったこと、実際に入社してみてどうだったか

機械加工（ワイヤーカット放電加工機の取り扱いを含め）は未経験だったので不安でしたが、工業高校でCAD※、ポリテクセンターでプログラミングを習ったので共通する点があり、少しづつ慣れてきました。※コンピューターを用いて設計すること

将来の職業について悩んでいる人へのメッセージ

これから就こうとしている仕事が未経験でも、それまでの経験が何かしら活かせると私は思っています。たとえばですが、私が子どもの頃から好きだった手芸やお菓子作りは、一見工業系の仕事とは縁遠いようにも思われますが、細かい作業を慎重に進める、という共通点もあると思います。どのような経験も将来役に立ちますよ。